

一店逸品運動で元気な個店が増えたことが、商店街の活性化につながる

## 青森市新町商店街振興組合

機関名	青森市新町商店街振興組合		
所在地	青森市新町2丁目6番27号		
電話番号	017-775-4134		
地域概要	(1)管内人口 298千人	(2)管内商店街数 23商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数 1商店街	(2)会員数 145商店	
	(3)空店舗率 8.1%	(4)大型店空き店舗数 1店舗	
商店街の種類	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街		

### 【事業名と実施年度】

平成15年度 活性化対策事業 総事業費 3,900千円  
 ・一店逸品運動事業

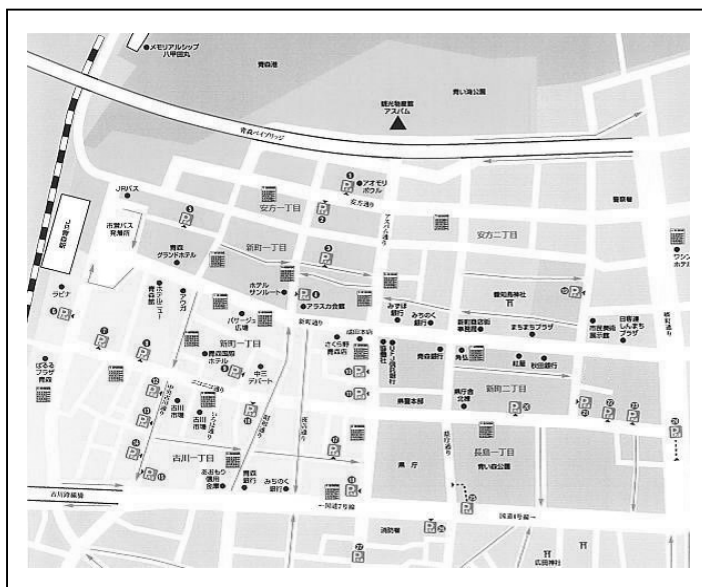
### 【事業実施内容】

#### 1. 背景

青森市新町商店街は、青森駅前を起点として直線約880mに渡り、店舗数約240店舗（うち組合員145店舗）という大規模な商店街である。

老舗商店街としてこれまでも様々なソフト事業に取り組んできた。特に集客型のイベントの際にはかなりの来客で賑わい、商店街としての存在を強力にアピールするという点では十分意義あるものとなっている。しかし、集客はするものの各店への売上効果という実感としてそれら事業の成功を感じられないというのが毎回の課題であった。業種別にみても、必ずしも広い業種に波及効果があるとはいえないのが実状であり、実際にイベントをチャンスとして売上アップにつなげている物販店は、ごく稀なケースにとどまっている。飲食店などの限られた業種にしか販促効果を感じないことが大多数の個店の意見となっていた。

実効性のある販促活動を組合加入におけるメリットとして打ち出せないということと、商店街組織としての共同事業意識の醸成が希薄となっていることが懸念されていた。



青森市新町商店街の地図（新町商店街振興組合HPより）

そこで、個店が元気になることが、それら個店で構成される商店街全体も元気になり、今後の商店街の生き残り戦略の一端となると考え、平成15年度は「一店逸品運動事業」を展開することとなった。

### 2. 事業内容

#### (1) 目的

通常の集客イベント事業だけでは思うような売上アップにはつながらないこと及び駅前再開発によって人の流れが変わり、約880mの街区のうち、駅前には来街者数が増加したが、駅から離れるほど減少し、厳しい状況となってしまった。

そこで、個々の店舗の活性化を支援することで、売上効果を実感できるものとするとともに、そうした元気な個店を増やすことで商店街全体の回遊性を高めることを目的とした。

#### (2) 事業概要

##### ①講演会の開催

個店における商品政策を含んだ販促活動について、実際に取り組んでいる静岡県呉服町名店街の一店逸品委員会の池田委員長を招き、その考えや経過などを聞く講演会を開催した。

##### ②逸品の開発・発掘

専門コンサルタントの指導のもと、逸品運動に関する勉強会と、参加各店における逸品の掘り起こし、又は、新商品・新サービスの開発という位置づけで研究会を開催して研究・討議を重ねた。

勉強会は、商店街組合員に広く呼びかけ、飲食店など夜忙しい業種のことを考えて昼と夜の1日2回開催するなど、参加を促した。

最終的な参加者は自分からすすんで積極的に参加する人のみが参加する形をとり、組合事業だからといって全員参加としなかった。この事業に対して本当にやる気のある人に絞ることで、全体の士気の高揚、レベルの高い逸品の発掘につなげた。

##### ③視察研修会の開催

一店逸品運動に取り組んでいる新潟県「長岡市商店街振興組合連合会」は今年で4回目を数え、中心商店街活性化にその成果が現れており、同事業成功の参考とすべく視察研修懇談会を開催した。特に、当該地で開催しているイベント「お買い物ガイドツアー」を実体験し、ノウハウを学び、大変参考となった。

##### ④広報媒体の各種展開の充実

一店逸品運動の成果を一般消費者に広くPRしていくため、カタログを模したチラシの展開では、宅配や新聞折込みにより青森市内全域と東津軽郡（約9万世帯）に配布したほか、店頭においても一言説明を加えながら手渡していった。

この逸品カタログの作成に関しては、専門業者に発注し、写真撮りも納得いくまで何度も取り直すなど時間とコストをかけ力を入れた。

そのほか、宅配チラシ、新聞広告、のぼり、ポスター、店頭 POP 提示と様々な展開を図ったほか、各店がそれぞれ工夫を凝らした店頭演出も充実することができた。

2004 保存版 青森市新町商店街逸品カタログ

# しんまちの逸品

選り抜きの魅力商品、自慢のすぐれものがいっぱい!!

商店街を 楽しもう!!

Vol.1 スタート記念号

「しんまちの逸品」に関するお問い合わせは 青森市新町2丁目6-27 TEL.017-775-4134 FAX.017-775-4193

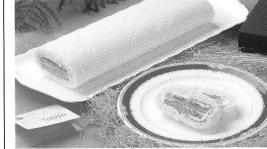
むつ湾からの贈り物  
ほたて三昧潮らーめん



青森県産のほたてをたっぷり使いました。ほたてのうま味とあま味が絶妙にマッチ! わかめもたっぷり入った塩味のラーメンです。  
定価980円(税込)  
チャーシュー、メンマ、もやし、コーン、玉子などが入った五目ほたて三昧潮らーめんもごさいます。  
定価1,200円(税込)

23 お食事処 四季のふん 017-722-4750 10:00~20:00 月2回水曜日(不定)

森の焼りんごろうる



青森県産りんごをバイ生地にしきつめじゅりりと焼きあげました。フレッシュバタークリームとやわらかなカスタードでふんわりとやさしく包みました。

1本—1,050円(税込)

29 洋菓子 サンドリオン TEL 017-722-55 http://www.jomon.ne.jp/simms11/shop/cendrillon/ 9:30~20:00

昆布羊羹  
港町青森の味



明治24年創業以来 変わらぬ味をお届けしております。羊羹に、北海の良質の昆布粉を練り合わせた独特の味わい。北国の潮騒の香がする港町青森の味です。

31 甘精堂本店 TEL017-722-3740 9:30~18:30

ザッハートルテ  
ウィーンを代表する名菓



19世紀初頭、フランス、ザッハーが創作した、世界最も有名なチョコレートケーキです。ウィーンで7年間修行して、マイスターを取得し、シェフが丹精込めて作っております。2階サロンでも御召し上がり頂けます。

32 シュトラウス TEL017-722-11 ケーキコーナー 10:00~18:30 9:00~12:00

手のひらサイズの「逸品カタログ」

⑤イベント開催

同事業の成果について、一般消費者にアピールするお披露目の機会として、逸品フェアを開催し「スタンプラリー抽選会」及び、「お店回りツアー」の実施を通じて、参加各店の取り組みを広く認知させた。

「お店回りツアー」は、参加料 500 円で 800 円相当のランチ付きとした。タウン紙などで公募したら、定員以上の反響がありお断りしなければならないほどだった。

【 効 果 】

1. 商店街の認知度

各店の逸品を掲載したカタログを模したチラシの宅配や新聞折込みを行ったほか、新聞広告、のぼり、ポスター、店頭 POP 等、様々な販促を展開したことで、お客様に認知された。結果、参加した各個店にとって、目に見える一番現実的な効果として売上増に貢献できた。

お客様は、逸品フェア終了後もカタログを捨てないで保存しておき、カタログ片手に来街している人も多く、問い合わせも入っている。

2. 来街者の行動

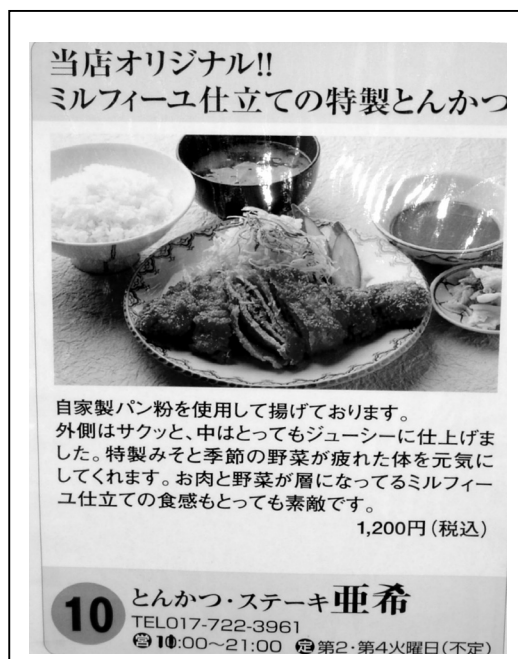
どうしても大型店などと比較すると、入りにくいのが専門店の宿命であることから、

「お店回りツアー」というイベントの実施を通じて、ツアー参加者に逸品の紹介とともに、店舗そのものについての興味につなげることができた。「しんまちの逸品ファンクラブ」という新町商店街を応援して下さる消費者グループも組織し、お客様とお店との架け橋となった。

### 3. 商店街の組織

商店街事業に積極的に参加する人は、役員中心にほとんど固定化されてしまっていたが、個店の売上につながるということで、普段商店街事業に積極的でない店舗の参加があるなど、組織の活性化が図れた。そして、今回の15年度の成果を目の当たりにした人からは、16年度は仲間に入りたいとの参加希望があるなど、良い広がりを見せている。

また、この事業を通じてグループ討議をすることで、参加店同士の親密さが増すなどコミュニケーションの醸成が図れたことも大きな効果である。親しくなれたことによって、今までタブー視されていた、互いの商品やその演出などについての評価を、ストレートに言いあえるようになった。



逸品運動参加店舗「とんかつ亜希」(左)と、同店の逸品(右)

## 【課題・反省点】

### 1. 事業の合意形成

組合員のうち対象となる小売・サービス業は約115店を数えるものの、初年度の参加店は35店という結果だった。ある程度事業に積極的なお店に絞らせてもらったことで、逸品としてのレベルを維持できたものと思われる。2年度目はそうした積極的な参加店を50店舗くらいに増やしたい。

## 2. 事業費の確保

一店逸品運動は、単年度で完結するものではなく、何年も継続するからこそ意義あるものとなる。

しかしながら、事業スタートの際は補助金を受けることができるが、同一事業では継続して補助金を受けられず、全てを自己資金で賄うのはかなりの負担である。フォローアップとして3年間ほど支援する制度の創設を望む。

### 【事業の実施ポイント】

この活動は、中途半端に単発でやっても意味がないし成功しない。逸品商品の売上以外のところに本来の意義がある。

元気な個店を増やすことが、元気な商店街へとつながっていくものと思われる。この事業をじっくりと継続して取り組んでいくことが肝心である。

### 【関連URL】

青森市新町商店街振興組合 <http://www.jomon.ne.jp/~sinmatil/>